

サン・ピエトロ大聖堂(ヴァチカン市国)

これはサン・ピエトロ広場から見たサン・ピエトロ大聖堂



アップで見たところ



ミケランジェロが設計した大聖堂のクーポラ(大天蓋)



右手を見たところ



半円形の回廊に4列にドリス式円柱が284本並んでいると云う [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



左手の、広場に立つ巨大なオベリスクを見たところ



大聖堂の前から振り返ってサン・ピエトロ広場を見たところ/17世紀にベルニーニが設計した楕円形の広場
[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



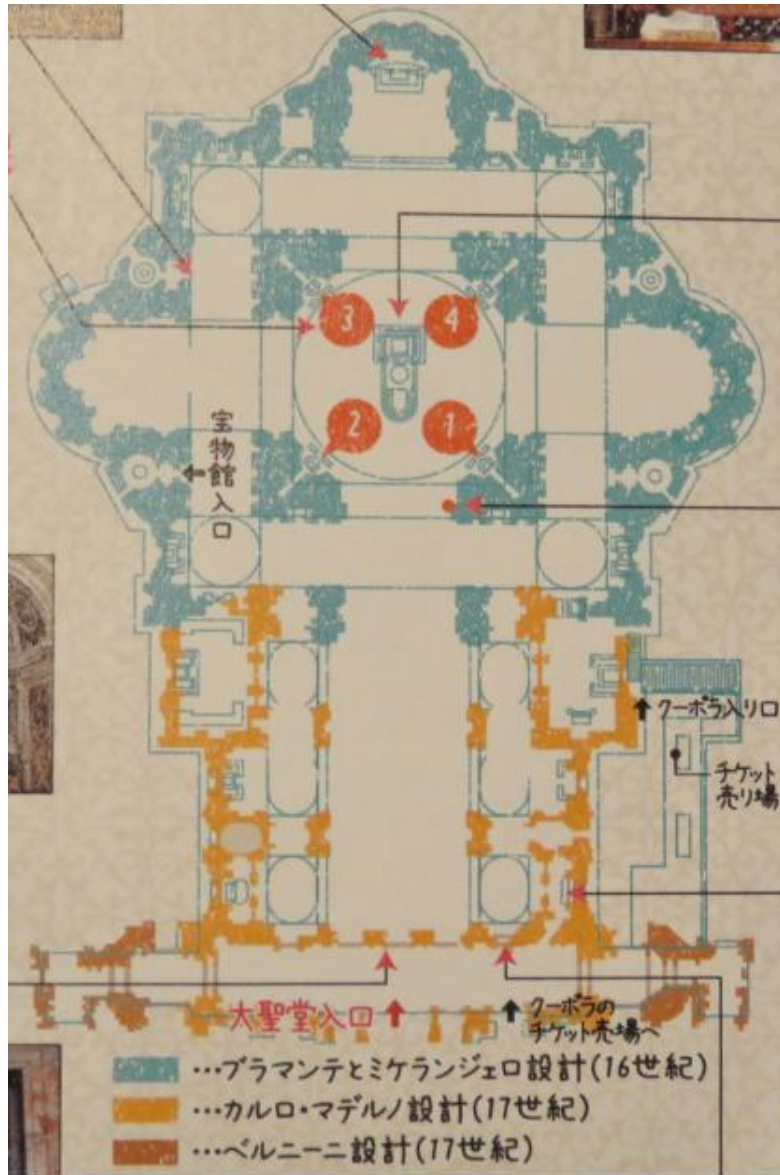
上の写真の右手前の地盤に「柱廊の中心」と書かれた円形の石があり、そこから柱廊を見ると、4列あるはずの柱が1本に見える



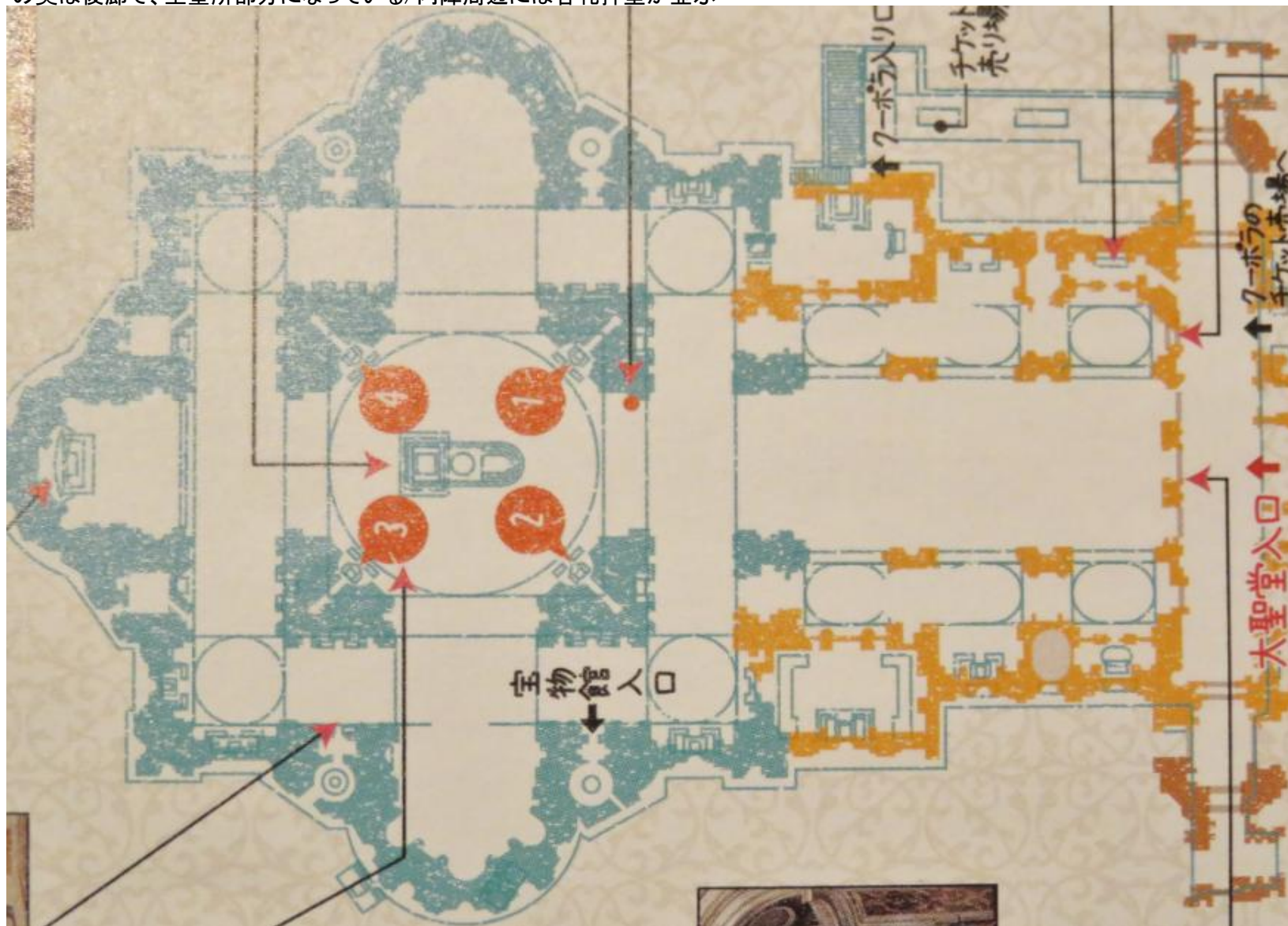
いよいよ内部へ入ろう/4世紀に創建された旧サン・ピエトロ大聖堂の跡に、1506年～1626年に亘って現在の大聖堂が建設された/
設計者はブラマンテ(盛期ルネッサンス)→ミケランジェロ(マニエリスム)→マデルノ及びベルニーニ(バロック)と引き継がれ、多彩な様式が混合する



「るるぶ イタリア'20」より



現在地(右手)から玄関廊に入り、その中央扉から内部に入った所が身廊で、その両サイドは側廊/身廊中央の内陣の両サイドは翼廊/内陣の奥は後廊で、至聖所部分になっている/内陣周辺には各礼拝堂が並ぶ



現在地
⇔

ここはマデルノ設計の玄関廊/右手に入口の扉が5つあり、左から「死の扉」「善と悪の扉」「中央扉」「秘蹟の扉」「聖年の扉」



身廊/ブラマンテ及びミケランジェロの設計だが、手前の部分はマデルノの手が入っている



内陣部分を見たところ/ブラマンテ及びミケランジェロの設計 [\(クリックしてビデオを見る\)](#)



その上部を見上げたところ



これがミケランジェロが設計したクーポラの天井



クーポラの真下には「バルダッキーノ」と呼ばれるベルニーニ設計のブロンズ製の天蓋がある/その向こうには、やはりベルニーニが設計した司教座が見える



下部の像はコンスタンティヌス帝の母、聖女ヘレナ/エルサレムで地中から十字架の断片を掘り出し、ローマに持ち帰ったと云う



天蓋の地下には聖ペテロの墓があるらしい/前方に司教座が見える



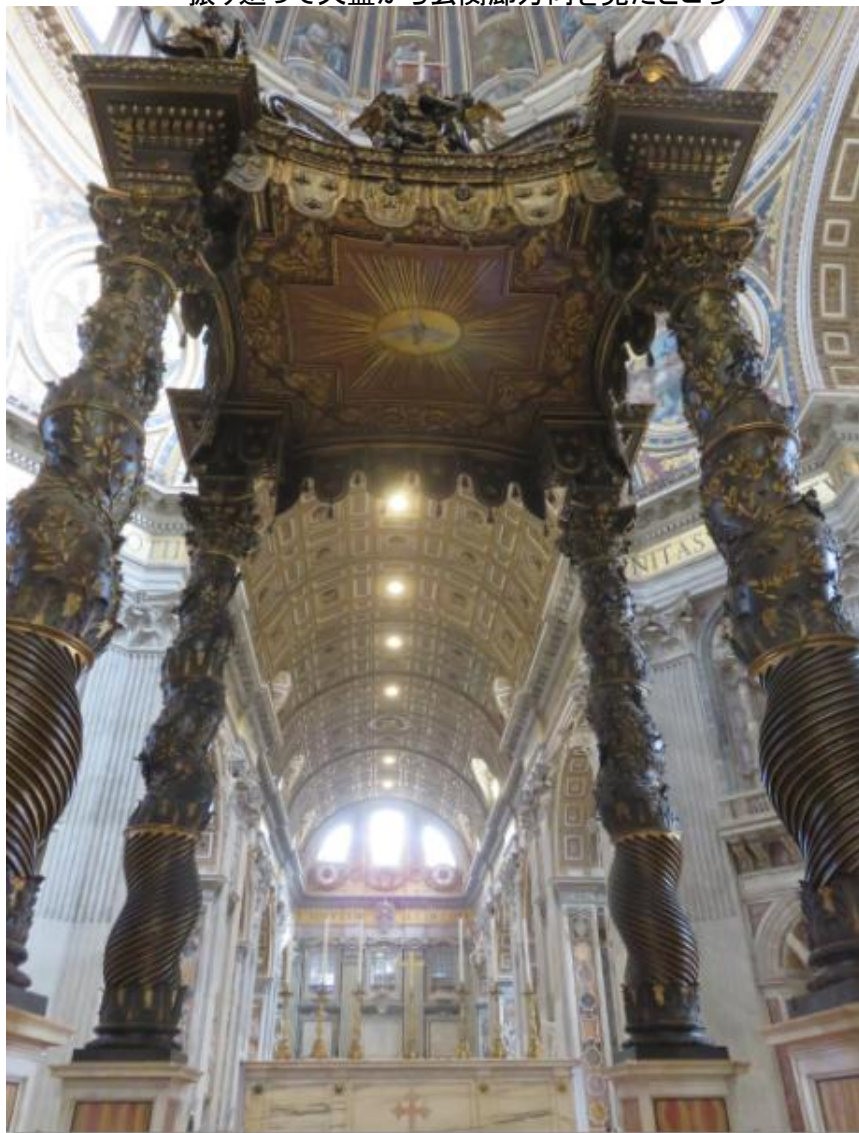
ここが後廊で司教座がある



教皇だけが腰掛ける木製の司教座の背後の光源はステンドグラスによるもの



振り返って天蓋から玄関廊方向を見たところ



その上部を見上げたところ



さて、前方の礼拝堂に像が安置されている



これはミケランジェロ作の「ピエタ」像/この時代、彫刻家・画家などのいわゆる芸術家が建築のデザインを手掛けている(ミケランジェロしかり、ブルネレスキ、ラファエロしかり)が、建築が空間芸術とされるのも頷ける



側廊/マデルノの設計



上部を見上げたところ



これはキリストの最初の弟子であり、初代教皇の聖ペテロ像



翼廊



上部を見上げたところ



側廊



側廊



側廊



アレクサンドル7世の墓碑



聖セバスティアヌス礼拝堂/聖ヨハネ・パウロ2世の墓がある

